

審議会の要旨記録

会議の名称	令和7年度第1回松伏町子ども・子育て支援審議会
開催日時	令和7年7月29日（火） 14時00分～15時00分
開催場所	松伏町役場本庁舎2階201会議室
出席者・出席数	委員6名 若盛（正）会長、竹森副会長、石井委員、今井委員、庄野委員、小熊委員、 若盛（清）委員
欠席者・欠席数	委員2名 栗原委員、中本委員、宮本委員
担当課職員	事務局：3名 すこやか子育て課 桐課長 互主幹 齋藤主査
会議次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議事 （1）こども計画策定に係るアンケートと策定作業の予定について （2）第2期子ども・子育て支援事業計画における事業（令和6年度実績）の 進捗状況について （3）その他 4. 閉会
配布資料	【資料1】松伏町こどもの生活と意識に関する調査へのご協力をお願い（案） 【資料2】松伏町こどもの生活と意識に関する調査（案） 【資料3】松伏町こども計画策定業務工程表（案） 【資料4】松伏町第2期子ども・子育て支援事業計画令和6年度進捗状況
会議録の作成方法	録音データを使用した要点記録

審議会の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項等
司会（事務局）	1 開会
若盛（正）会長	2 会長あいさつ こどもたちは小中学校は夏休みに入っている。我々の経験や立場から、松伏町の子ども・子育て支援についてこうあってほしいという願いを最優先に進めていきたい。忌憚のない意見をいただきたい。
司会（事務局）	事務局紹介 審議会委員紹介 委員の出席状況を報告、本日の会議が成立することを確認した。
事務局	3 議事 (1) こども計画策定に係るアンケートと策定作業の予定について 【資料3】松伏町こども計画策定業務工程表（案）について こども計画策定を2か年で実施することを説明した。
若盛（正）会長	【資料1】松伏町こどもの生活と意識に関する調査へのご協力をお願い（案） 【資料2】松伏町こどもの生活と意識に関する調査（案） こどもとその保護者、若者を対象とした調査について実施方法等を説明した。説明を受け、質問や意見を求める。
石井委員	こどものアンケート対象者として、小学5年生と中学2年生を対象としているが、対象者は、公立の小中学校と中学校だけか、食事の頻度についての質問があるが、アンケートの実施時期はいつごろか。
事務局	アンケートの実施時期は、9月に行われる公立小中学校の校長会でアンケートの協力依頼を行い了承を得てから実施する。時期は9月下旬を見込んでいる。対象者は公立小中学校の児童生徒となる。
石井委員	こども用のアンケート設問7の回答による分岐先の設問は、紙面では分かりにくいと感じたが、実際にはどうなるのか。
事務局	今回のアンケートはWEBアンケートとして実施する。回答内容により、進むべき設問に自動で進むため、見誤るということはない。
石井委員	こども用のアンケート設問15は、前の設問で「行ったことがない」と回答した場合に回答する設問か。
事務局	こどもの居場所に関する設問であり、全ての対象者に対し、どのような居場所を行ってみたいと感じるかを問う内容である。
石井委員	こども用のアンケート設問29の「お世話」という表現について、他の年齢を対象とするアンケートから介護のことと理解した。小学5年生が介護のことを聞いているとイメージできるかについて気になった。また、15～29歳を対

事務局	象としたアンケートの設問9は、それぞれの項目について程度を聞くものか。WEBのアンケート画面では見やすいレイアウトを作成する。設問9についてはその通りである。
若盛（正）会長	石井委員は、こどもと接している立場からの率直な意見と考える。案に反映をお願いしたい。
庄野委員	アンケート対象者のこどもは回答できる端末をそれぞれ使用できる環境なのか。
事務局	タブレット端末が公立小中学校の児童生徒は一人一人に支給されている。
竹森副会長	依頼文案には、親や学校の先生が回答を知ることはないと書いているが、学校で行うのか。家庭では親は回答内容を知ることができるのではないか。
事務局	本日欠席の中本委員からも同様の意見があった。家庭によっては、親の意見が回答に影響してしまうことも懸念される。こども自身の率直な意見を集めたいと考えており、教育委員会や学校に対し、学校で回答の時間を確保することに協力いただきたいと考えている。
竹森副会長	設問に対しての解説も含めて学校で実施することは可能と考えている。
若盛（正）会長	事前に現場の先生からの意見等も踏まえて準備をお願いしたい。
若盛（清）委員	若者を対象としたアンケートの対象者が15～29歳とのことだが、範囲が広すぎるのではないか。結果が分かりにくくならないか。
事務局	こども基本法においては、こどもの定義は自立するまでとされ年齢での明確な区分はない。他自治体では30代までというところもあるようだが、本町ではアンケート対象者としては20代までとした。アンケートの結果は、年齢別の結果も分析する。
今井委員	アンケート内で使用されている用語の意味や目的とすることの解説が必要だと思う。学校で行うとのことであったが、親子の対話のきっかけとしては、家庭で行うことも悪くはないと思う。
事務局	さまざまな家庭環境がある。今回のアンケートでは、いつもは発していないこどもの意見をも取り込みたいと考えている。
竹森副会長	今回のアンケートを実施するにあたり、保護者には通知するか。
事務局	現在の通知文案には「小学5年生・中学2年生本人については別途実施する」と書いているが、案を修正し、理解を得やすい内容にしたい。
竹森副会長	さまざまな家庭があり、保護者の考えも多様化している。アンケート調査に協力したくない、という保護者の意志があった場合に、学校での実施となると強制的なものに感じ取られるのではないか。学校としてはアンケート調査に協力したいが、そのようなことも想定した実施方法としてほしい。
若盛（正）会長	幼児教育においても、保護者の考え方は非常に多様になっている。実施可能な方法を検討してほしい。
事務局	既にこども計画を策定している他自治体の事例も参考に実施方法を検討する。

事務局	<p>(2) 第2期子ども・子育て支援事業計画における事業（令和6年度実績）の進捗状況について</p> <p>【資料4】松伏町第2期子ども・子育て支援事業計画令和6年度進捗状況について説明</p> <p>5段階評価のうち全てA評価であった。</p>
若盛（正）会長	<p>評価の方法については、同じような規模の自治体や先進的な取組をしている自治体の施策なども研究し、客観的に本町の子育て環境がどうであるかの観点をに入れてほしい。</p>
若盛（清）委員	<p>保健センターの項目⑩で乳幼児健康診査が100%に達していないが、対策をどのように考えているのか。幼児施設なども協力し100%になるよう努めてほしい。また、5歳児健診に取り組んでいる自治体もあると聞いている。就学時前健診とは別に健康面や精神面も含めたものである。そのような事例も検討してほしい。</p>
庄野委員 事務局	<p>3歳4カ月児健康診査のあとは就学時前健診となり、その間は空白と言える。1カ月児健診と5歳児健診については国庫補助が行われており、本町では今年度から1か月児健康診査費用一部助成を行っている。5歳児健診についても検討していきたい。</p>
庄野委員 事務局	<p>1カ月児を対象とした訪問指導は行っているのか。 （乳児の全戸訪問を）実施している。</p>
竹森副会長	<p>小学校に関連した施策が15ほどある。沢山あるが内容を個々に見ていくと、細かい要望も出ている。今後担当課を通じて改善等の要望をしていきたい。</p>
若盛（正）会長	<p>9ページ記載の小学校との連携について。年長児と小学校との交流を行っている。小学校側ではなかなか受け入れられる時間を調整することが難しいという課題と、単にイベントとしてのやり取りだけでなく、こども同士の育ちあいを目指したいが至っていない。小学校や幼稚園や保育園と教育委員会も含めてどうあるべきか、実施方法や継続性をさらに整える必要があると考えている。</p>
事務局	<p>各担当課での評価であるため、ご意見のような視点も担当各課へ共有していく。また、さまざまな事業は、他自治体の事例を研究していく。</p>
竹森副会長	<p>目標と評価について、開催や活動の実施を行うことを目標として評価する段階のものと、実施による効果を評価とする場合があると考え。今後検討してほしい。</p>
若盛（正）会長	<p>ポリシーは持つべきだと思う。委員として目標の実現に向け協力したいと考えている。</p> <p>(3) その他 なし</p>
	<p>4 閉会</p>